



発行
城山親子会

No.849
立教186年
2023. 11. 22

城山大教会活動方針

日々生かされていることに感謝して、

ご恩報じにつとめよう

- 一、おつとめに心を込めよう
- 一、家族で日参を実行しよう
- 一、自分にできるおたすけをしよう
- 一、おちばがえりをしよう

本 部

お願いづとめ・おさづけ取り次ぎ

11月3日より、日曜、祝日、毎月25日のお願いづとめ後におさづけの取り次ぎを行います。お願いづとめ開始時間は11時30分、おさづけ取り次ぎ開始時間は、お願いづとめ終了後より12時30分まで、場所は西礼拝場です。

おやさとのきしんオンライン申し込み

親里でのひのきしんを希望される方に、ひのきしんの受け入れをしております。個人や少人数でも気軽におつとめいただけます。今年2月から毎月平均五百名の方々がおつとめ下さっています。

弟の内げいのたからせきくみりも
 じゅうごうほむなうしよこむい

これまでの電話での申し込み方法に加えて、オンラインでの申し込みを開始しました。教祖百四十年祭特設ホームページをご覧ください。

お節会

期 日 1月5日、6日、7日の午前10時から午後1時まで

来年はお雑煮のおかわりができます。また、出口にてお下がりのお餅をお持ち帰りいただけます。

教祖百四十年祭教会長夫妻おたすけ推進のつどい

開催趣旨

道の先達である教会長夫妻に、一層力を入れて、にいがけ・おたすけに取り組むことを促し、信仰する人が増えるなどの年祭活動の実をお見せいただけるよう、年祭活動初年の歩みを踏まえ、改めて実働を期す。また、教会長夫妻の動きを芯にして、教祖にお誓い申し上げた目標の実現に向けて、教会が一丸となって歩みを進める契機とする。

期 日 5月22日

また、来年3月から5月にかけて、「推進のつどい」の部内巡教を行います。

ようぼく一斉活動日参加カード

参加カードの追加を希望されます教会は、大教会へお申し込み下さい。

ようぼく講習会

来年より、1日コースに加えて1泊2日コースが新設されます。
1日コース

テーマは、従来の「親神様の御守護と教えの実践」「教祖」に
「おさづけは有難い」が加わります。

1泊2日コース

テーマは、「教えに基づく生き方」ふしの受け止め方とたすか
る信念」。「教えに基づく生き方」はたらく」です。

ようぼく講習会ホームページから申込みができます。

第三・第四食堂の解体工事

工事期間 11月1日から来年9月30日まで

なお解体跡地は、教祖百四十年祭の駐車場として使用します。

本部食堂ひのきしん

12月1日～15日 山都一 村田八十司

立教一八七年の心定め

来年は、教祖百四十年祭活動2年目になります。役員と相談し
て来月22日までに大教会に提出して下さい。

大教会

教養掛研修会

日 程 1月23日午後

講 師 鈴木顕太郎先生（東濱名分教会前会長、ひのきしんス
クール運営委員、「依存症たすけあいの会」代表、地

元の静岡では保護司・教誨師などもつとめている）

講義内容 「身上の方を修養科へいざなう上で大切なこと」

私たちの信仰の原点は、おちばにあります。おちばは人類の故郷であり、私たちの心の拠り所です。ことに教会本部修養科は、単に今の悩みを取り除くためでなく、我が身、我が家のいんねんを自覚し、心からたすかっていただけ場所です。ですから私たち教会長は、おちばへ、修養科へ志願してもらえよう丹精を続けています。一方で、目の前にいる身上者を修養科へといざなう上で、気をつけなければならぬことは多岐にわたります。修養科志願時の留意点、修養科中の教会としての姿勢、修了後の丹精のあり方を学び、修養科へ送り出す側（教会長）、日々お世話どりする側（教養掛）として身につけておくべき心構えを研修します。

なお、公開講義としますので、聴講を希望されます方はお集まり下さい。

教養掛任命

教養掛研修会（1月23日）にあわせまして、辞令を交付いたします。左記の方は、ネクタイ着用の上、研修会にご参加ください。

教養掛

高橋邦和、高橋邦之、秋山亮克、堀口教之、五日市正道

小田裕、工藤寿美、佐々木誠、工藤恒美、阿部豊、須藤司

須藤宏文、森内聖也、北山道治、宮澤恵司、小田真一郎

瀬川初人、相内知昭、赤平治三、田中道弘、蒔田登紫行

棟方典人、小野道幸、小野興道

百三十周年創立記念祭

真柱様よりメッセージを頂戴しました。各教会に下付いたしますので、拝読の上、年祭活動の糧としていただきますようお願い

いたします。

記念品を教会、布教所、おつなぎくくださった方々にお渡ししますが、不良品がありましたら大教会へお知らせ下さい。

鏡餅つき

12月24日準備、25日餅つきです。一人でも多くのひのきしんをお願いいたします。参加できます方は、詰所までお知らせ下さい。

来年のカレンダー

教会二部、布教所一部配布します。

十二月月次祭神殿講話

役員 瀬川 初人 野邊地分教会長

廻廊拭きひのきしん

実施日 10月25日

参加者 男子 17名 女子 2名 計 19名

毎月25日に廻廊拭きひのきしんを行います。

祭事部

月次祭のおつとめ奉仕

おつとめ奉仕役割は、一ヶ月前に月報をもって発表しておりますが、連絡なく欠席をされる方がおられます。止むなく奉仕出来ない場合は、前日までに大教会へ届け出て下さい。又、地方に当たっている人は、三代真柱様のCDに合わせるよう十分練習をして下さい。

布教部

立教一八七七年春季大祭 団参マイクロバス運行計画

明くる年の大教会春季大祭に向けて、マイクロバスの運行を予定しております。翌日には教養掛研修会も併せて行われますので、帰参予定の方はご利用ください。(大教会往復) 詳細は来月月報にて発表いたします。

婦人会

第一〇六回総会

日 時 立教一八七七年4月19日(金)午前9時30分

場 所 本部中庭

記念行事 支部の集い 総会終了後

別席強調月間

期 間 立教一八七七年4月1日(月)～30日(火)

総会月の別席場をにぎやかに、老いも若きも別席者のご守護をいただきますよう。

学生担当委員会

立教一八七七年学生生徒修養会 高校卒業生コース

期 間 令和6年3月10日～12日

受講対象 令和5年度卒業予定者 全期間を通して受講出来る者

受講人員 四百名

受講御供 五千元

立教一八七年春の学生おぢばがえり

期 間 立教一八七年3月28日(木)

内 容 式典 10時 本部中庭

「真柱様お言葉」、直属アワー、前日行事

けいじばん

十二月大教会神殿奉仕

11月27日	12月1日	津軽新城
12月1日	6日	新横須賀
12月6日	11日	南金田
12月11日	16日	きやま講
12月16日	21日	外ヶ濱
12月21日	24日	大教会役員、岩詣坊(布)
12月25日	26日	きやま講
12月27日	1月1日	禮陽

大教会伏せ込みひのきしん 子弟育成委員会

修養科始業講習 石原旬一

修養科修了講習 田中道弘

教養掛 森内 聖也 (11月24日) 12月28日

秋山 亮克 (12月24日) 1月28日

婦人会当番

十二月教祖おみやげ、女鳴物、厨房、洗濯当番、詰所ひのきしん

八戸、古間木、禮城 各委員部

十二月委員伏せ込みひのきしん

小田 晴恵、村田 良子

十二月月次祭祭典雅楽

一、調子 黄鐘調

一、曲目 拾翠楽 海青楽 千秋楽

越殿楽 西王楽破

詰所まなび月次祭

日 時 12月10日(日) 午後5時から

庶務月報係より

来月から城山月報はデジタル化され、メールにてお送りします。教会には記念祭の記念品としてタブレットが配布されました。タブレットの操作を覚えて、月報の閲覧が出来るようにお願いします。

タブレットの操作が分からない場合は、直轄毎にサポート担当者の方が居ますので、サポート担当者の方にお聞き下さい。

サポート担当者は、次の通りです。

大教会(統括) 阿部豊、盛岡 五日市正道、浪岡 阿部豊、野邊地 瀬川初人、五所川原 田中元直、城都 阿部豊、上田・八戸・山都一・南遠・新横須賀 小田真二
宜しく願います。

十二月月次祭々典役割表

立教一八六年（令和五年）

十二月二十一日十時執行

祭主	大教会長		
扈者	小野道幸	石原旬一	
賛者	小田真一郎	森内聖也	
指図方	赤平治三		
献饌長	村田勇		
ておどり	すわりづとめ	前半下り	後半下り
	瀬川カウ	田中美穂子	夏目政代
	石原愛子	野中華子	近藤喜美江
	会長夫人	関美佐子	戸塚美代子
	大教会長	小田真一郎	飯野康二
	松浦靖治	北山道治	芳野健司
	小野道幸	須藤宏文	工藤良樹
笛	高橋邦和	高橋邦之	松本治美
ちゃんぽん	工藤寿美	森内聖也	高橋清
拍子木	石原旬一	阿部豊	近藤文雄
太鼓	田中道弘	工藤恒美	澤野公志
すりがね	村田勇	柴田知弘	五日市正道
小鼓	赤平治三	佐々木誠	小田真二
琴	村田良子	小田美枝子	芝崎みよ子
三味線	高橋節	禮城委員部	平生光枝
胡弓	小田晴恵	松浦しげ子	澤野美花
地方	瀬川初人	相内知昭	秋山亮克

○直轄の会長さんは、役割に当たっている人にお声掛けを、よろしくお願いします。

○地方は、真柱様のCD（「三代真柱」と表示）に合わせるよう十分練習して下さい。

○婦人の帯は、六月～九月は夏物、十月～五月は冬物。

○止むなく奉仕できない場合は、前日までに大教会へ届け出て下さい。

控え

おつとめ奉仕者以外の全教会長夫妻、全布教所長
松浦春年、須藤司、田中元直、小田真二、櫻田陽一